

須磨区自立支援協議会 2023 年度 事業方針

須磨区自立支援協議会は、現在もコロナ禍が続く中、オンライン形式での会議や交流会など新しい手法も取り入れ、より一層の協議会構成員間の連携を図るなど、社会情勢の変化にも臨機応変に対応しながら、障がいのある方の気持ちに寄り添い、適切な支援や方策を協議するとともに、作業部会活動等に取り組むことで、障がいのあるなしに関係なく、住み慣れた地域でともに支えあい、だれもが安心して暮らせるまちづくりを目指していきます。

1. 組織及び運営について

須磨区自立支援協議会では、具体的な取り組みを行う場として「作業部会」（6部会）を構成しています。各部会がテーマに応じた取り組みを進め、その進捗状況や検討事項を「運営委員会」（年4回）で定期的に共有・協議し、「全体会」（年1回）で報告、方針を決定します。作業部会の取り組みから明らかになった地域課題に対して、新たな活動プロジェクト等の編成が必要な際は、適宜、具体化に向けた検討を行います。

「実務調整会議」では、上記の地域課題に対して実務者レベルで協議する必要性が生じた際に、各部会と行政を交えた横断的かつ実効性のある取り組み内容の企画、調整の役割を担います。

2. 地域課題の共有・協議について

須磨区自立支援協議会として、区レベルで解決できると考えられる課題については、具体的なねらいを明確にし、積極的に作業部会等を通じて解決に取り組めます。また、市域全体にわたる課題と考えられる事項は、神戸市自立支援協議会における協議事項として提起していきます。

3. 作業部会別の活動について

作業部会は、協議会構成員の自由選択による参加としています。1つの団体が複数の部会に加入できますので、部会のねらい・内容に応じて、積極的に参加してください。（部会別の活動方針については、別紙参照）